

# 大東大須賀区域認定こども園化に関する検討状況をお知らせします。

増刊号

平成 29 年 9 月 版

城東地区の皆さまへ  
お知らせです。



38人が参加しました。

## 城東地区市民ワークショップが開催されました。

平成 29 年 7 月 23 日（日）、大東北公民館にて「（仮称）城東認定こども園化市民ワークショップ」が開催されました。幼稚園・保育園の保護者、地域の皆さま、園の先生たちが一緒になって「“地域の子ども達を育てる拠点”としての園をイメージしてみよう！ ～私たちが目指す認定こども園は？～」をテーマに話し合いました。

まずは“アイスブレイク”  
楽しいゲームで場が和みました。



和やかに…  
でも、真剣です。



すべての意見の中から“大切に  
したいもの”を投票で決定

投票結果は裏面 ✨

7グループごと意見を出した後、全員で投票(一人3票)をしました。  
右端はその順位です。



平成29年7月23日開催

グループ	意見	得票数	順位
イルカ	1 園舎園庭→子どもたちが十分に安全に遊べる(生活できる)広さ!	1	
	2 こども園に不安なくスムーズに移行できるような事前の取り組み	9	
	3 自然がたくさんある地域ならではの自然を生かした保育(山遊び・田んぼ遊び)	5	
	残しておきたいこと		
	4 異年齢児同士のかかわりもてる	かに4へまとめる	
5 保育料、運営費手続きがどうなるか	0		
かえる	1 行事について、各園の特色ある行事(田んぼ・山・川遊び、梅とり、いちご狩りなど)の継続を!!(TVに出るのが親として嬉しい)	14	3位
	2 参観会について、大きな行事は休日に行い家族全員で見たい(子どもの自然な姿をたくさん見たい)	0	
	3 施設について、駐車場を広くて利用しやすいものにしてほしい(距離、雨対策など)	0	
	残しておきたいこと		
	4 役員を幼稚園部だけの負担にならないように	1	
5 大規模化になっても職員体制の充実を!(オーバーワークは保育の質を下げる)	3		
かに	1 先生と子どもの関係を大切にしたい	0	
	2 園舎が整っていて欲しい(駐車場、園庭など)	5	
	3 地域の関わりを大切にしたい	イルカ3へまとめる	
	残しておきたいこと		
	4 異学年との関わりを大切にしたい	2	
5 PTA活動の今後どういう形になっていくか・・・	1		
ぞう	1 保育用品はどうなるのか?→買い換えの時期を考慮してほしい	13	4位
	2 幼稚園と保育園の親のかかわり方が違うので、平等になるような配慮をしてほしい	1	
	3 地域(地元のお店、畑や米作り、野菜、町工場など)の方々を巻き込んでの子どもの見守り。かかわり。自分に園児がいなくてもかかわってほしい。	2	
	残しておきたいこと		
	4 -	-	
5 -	-		
きりん	1 子どもの人数が多いので、子ども達に目がいき届くかどうか。先生の負担(人数を多く)	11	5位
	2 小学校との連携・交流ができるのか?(引き渡し訓練等)	0	
	3 幼・保のPTAや行事の違いをどうするか(役員、PTA、家教)	2	
	残しておきたいこと		
	4 用品を継続して使用できるか	0	
5 -	-		
コアラ	1 場所は城東中周辺。園舎は子どもたちが過ごしやすい環境となるように職員の意見を取り入れてほしい(冷暖房、職員室の位置など)。園庭は休日開放(公園のように)してほしい。	15	1位
	2 人的環境としての職員配置。新人からベテランまで幅広い層で保育の質が保たれるようにして欲しい。	2	
	3 認定こども園となり、人数が増えるが、小中学校との連携を含め地域の方(老人ホームなど)との交流を続けて欲しい。	0	
	残しておきたいこと		
	4 -	-	
5 -	-		
てんとうむし	1 これからも変わらない地域、自然との関わりを持ち続けたい(田んぼ山登り、フルーツ狩り、虫採りなど)	イルカ3へまとめる	
	2 保護者同士、職員同士の関わり、情報共有が出来るようにしたい	15	1位
	3 のびのびと遊べる園庭、遊具、保育室が欲しい	0	
	残しておきたいこと		
	4 園バスいらない。駐車場が欲しい(その予算で1~3の充実を)バスがあると職員、保護者間の関わりがなくなってしまうため。	0	
5 -	-		



★ 市では、ワークショップでの御意見を参考に、認定こども園化を推進していきます。



掛川市役所こども政策課 TEL : 0537-21-1211

社会福祉法人大東福祉会 TEL : 0537-74-5111

e-mail:kodomoseisaku@city.kakegawa.shizuoka.jp